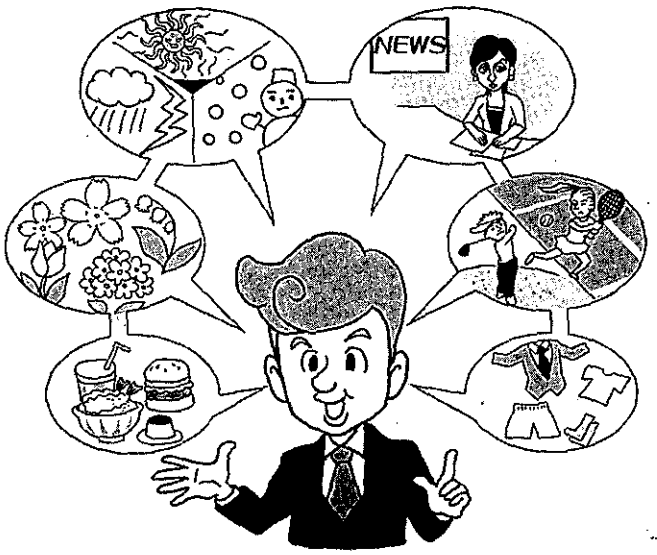
絵コノ時評

商機左右する雑談力

経済部デスク　中村宏之

NHKラジオのビジネス英語講座で約25年にわたって講師を務めている杉田敏さん(69)は近年、企業関係者から「どうしたら英語でうまく雑談できるか」という質問を受けることが多くなった。海外進出に伴って、商品や会社紹介を英語でこなせる人も増えてきたが、対話を通じて企業の魅力を十分売り込めず、商機に発展させられない危機感から助言を求めてくるそうだ。



雑談で心を通わせるには準備も大事
絵・ＩＫＵＫＯ

初対面の人などと心の距離を縮めるのに雑談の力は大きいが、英語だと戸惑ってしまう。同じ経験は筆者にも何度もある。

杉田さんは「自分を効果的に印象づけるスキルとして特に英語圏の人たちは訓練して身につけている。意識して準備し、話題を蓄積しておくことが大切」と話す。天気や季節の風物など「ちょっとした話」(スモール・トーク)を臨機応変にできることは組織にとっても大きなプラスとの考えだ。

先日ロシアで開かれていた主要20か国・地域首脳会議で各国首脳が雑談する様子をテレビで見た。スモールだがビッグな国益につながる話を安倍首相が出来ていたのか、少し気になった。

＊お便りはこちらへ　keizai@yomiuri.com

住友商事と
日、がん細胞
る特殊な放射線
装置を開発し
た。これまでの
て、患者の負担
少ないのが特徴
難しかった悪性
性黒色腫（メラ
どに有効だとい
来年にも1号
始め、2016
労働省に許認
る。患者が全額
自由診療であれ
ら利用できる。
開発された装置
ウムを採用し、
来型機器の10分
抑えられるとい